

令和7年度 ブロック化による学校支援事業予算申請書および報告書 (第2教育ブロック) 【学校ごとの個別の取組支援予算】

取組実績は取組完了時入力
実績報告はR8年3月6日提出〆切

(校園コード) 学校名

※この様式は、第2教育ブロックグループあてSKIP個人連絡メールにて提出してください。
※本様式に加えて配付用途について【申請票B】(SKIP文書連絡機能:4/11〆切)への回答が必要です。
その際、【様式1・2】のすべての予算内訳の費目について回答してください。

① 取組支援費

円

※個別の取組支援費については、3月下旬に決定し通知します。
通知された金額を①に入力してください。

② 申請額

円

※申請額は、取組支援費と同額になることが望ましい。

③取組内容・予算内訳(取組実績・決算内訳)

④ 決算額

円

(1) 取組内容	学びサポーターの活用	事業実施の観点
※購入物品名とその活用方法、期待される効果などについて記載してください。		<input type="checkbox"/> A: 自主学習習慣の確立
個に応じた指導を充実させ、基礎基本の学習を確実に定着させるために活用する。		<input type="checkbox"/> B: 教職員の指導力向上
		<input type="checkbox"/> C: キャリア教育等の推進
		<input checked="" type="checkbox"/> D: 校長マネジメント支援
申請額	予算内訳 ※費目、数量、単価、金額がわかるように記載してください。	
848,000	学びサポーター一人件費 @1,600円×530時間=848,000円 合計848,000円	
取組の効果を測る成果指標 ※「令和7年度ブロック化による学校支援事業実施要領3(3)①参照。 校内アンケート「授業はわかりやすい」において、肯定的回答を80%以上を維持する。(R6 80%)		
取組実績1	学びサポーターの活用	事業実施の観点
※購入物品名とその活用方法、また活用の効果などについて記載してください。		<input type="checkbox"/> A: 自主学習習慣の確立
学習中の個に応じた指導を充実させるために活用している。個別につまずいている問題に丁寧に指導した結果、試験をすと理解度が高まり、授業でも挙手をする児童が増えるなど、学習への意欲も高くなってきた。		<input type="checkbox"/> B: 教職員の指導力向上
		<input type="checkbox"/> C: キャリア教育等の推進
		<input checked="" type="checkbox"/> D: 校長マネジメント支援
決算額	決算内訳 ※費目、数量、単価、金額がわかるように記載してください。	
848,000	学びサポーター一人件費 @1,600円×530時間=848,000円 合計848,000円	
目標の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回った <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回った (いずれかに <input checked="" type="checkbox"/>)		
成果指標に基づき検証し、記載してください。 ※「令和7年度ブロック化による学校支援事業実施要領3(3)②参照。		
学校教育アンケート「授業はわかりやすい」の肯定的回答は、84.3%と前年度より5ポイント上回った。学習サポーター各クラスに配置し、丁寧に個に応じた学習支援を行ったが結果であると考えている。		

【裏面に続く⇒】

(校園コード 521036)

学校名

東都島小学校

(2) 取組内容	個別学習の充実	事業実施の観点
※購入物品名とその活用方法、期待される効果などについて記載してください。		<input type="checkbox"/> A:自主学習習慣の確立
習熟度に応じた個別学習を行ったりや基礎的な基本的な内容繰り返し行ったりすることで、学力向上をめざす。		<input type="checkbox"/> B:教職員の指導力向上
		<input type="checkbox"/> C:キャリア教育等の推進
		<input checked="" type="checkbox"/> D:校長マネジメント支援
申請額	予算内訳 ※費目、数量、単価、金額がわかるように記載してください。	
208,400	10-1小学学習習熟プリント(清風堂) @2500×30種類=75,000 10-1学習用ホワイトボード @5000×20=100,000 10-1PPC用紙 33,400 合計 208,400円	
取組の効果を測る成果指標 ※「令和7年度ブロック化による学校支援事業実施要領3(3)①参照。 R7経年調査での国語と算数の標準化得点を同一母集団の比較において、100以上を維持する。 (R6国語 3年103.7 4年104.3 5年101.0 R6算数 3年103.5 4年106.8 5年104.1)		
取組実績2	個別学習の充実	事業実施の観点
※購入物品名とその活用方法、また活用の効果などについて記載してください。		<input type="checkbox"/> A:自主学習習慣の確立
習熟度に合わせたプリントを繰り返し行わせることで、基礎的な事項の定着を図った。学力低位層の児童の底上げにつながっており、以前より学力の2極化が縮小されてきていると実感できる。		<input type="checkbox"/> B:教職員の指導力向上
		<input type="checkbox"/> C:キャリア教育等の推進
		<input checked="" type="checkbox"/> D:校長マネジメント支援
決算額	決算内訳 ※費目、数量、単価、金額がわかるように記載してください。	
287,855	0-1算数習熟プリント(中級 1~6年) @2,180×6=13,080 10-1算数習熟プリント(上級 1~6年) @1,780×6=10,680 10-1社会習熟プリント(4~6年) @2,180×3=6,540 10-1国語習熟プリント(1~6年) @2,180×6=13,080 10-1PPC用紙 A4 @3,850×29=111,650 10-1PPC用紙 B4 @5,775×23=132,825 計 287,855円	
目標の達成状況 <input type="checkbox"/> 目標を上回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回った (いずれかに✓)		
成果指標に基づき検証し、記載してください。 ※「令和7年度ブロック化による学校支援事業実施要領3(3)②参照。 R7経年調査:国語4年102.8 5年103.1 6年100.9 算数4年105.1 5年103.6 6年104.0 と、国語では4年と6年、算数では4年が前年度を上回るもしくは同じであった。		